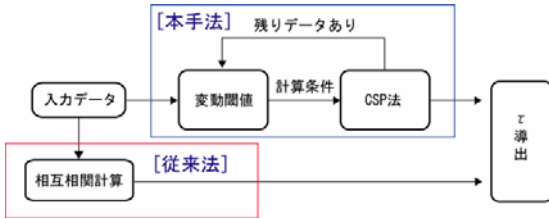
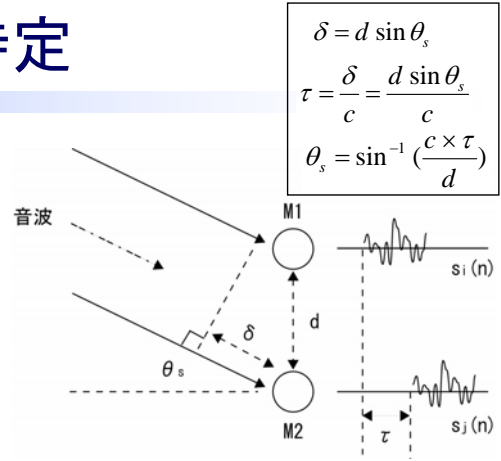
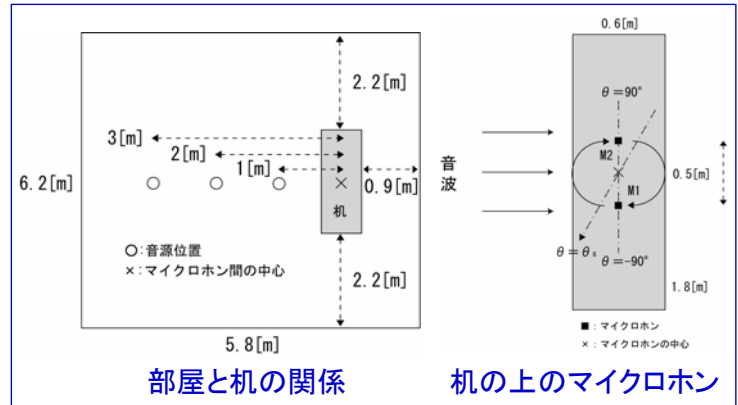
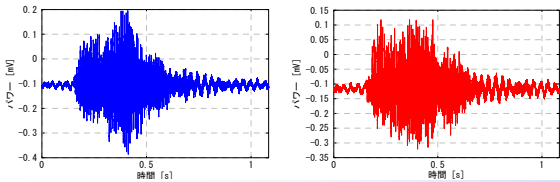


音声解析に基づく発話者の特定

- 右図に示すように、2つのマイクロホンを使って音の到来方向を求めることができる。
- この原理を用いて、テーブルの周囲の人の中の誰が発言したかを認識する方法を開発した。
- 実験環境を右下に示す。
- 処理の流れ：

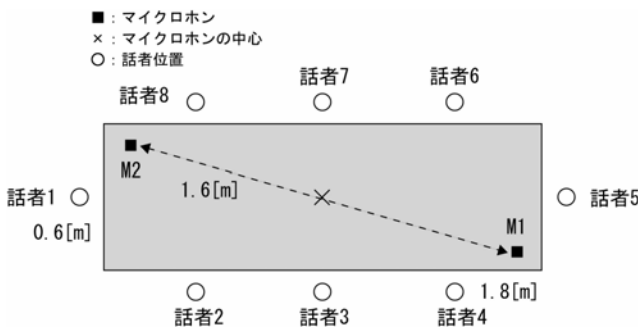
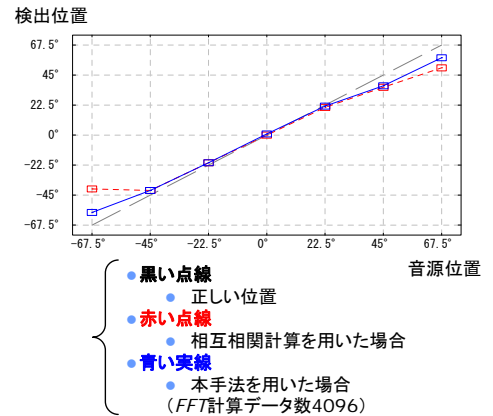


実測データの例：



実験結果

- 到来方向の計測結果を右に示す。誤差の少ない推定が行なわれていることがわかる。
- 追加実験として下の設定での実験を行なった。



ほぼ正確な計測が行なわれていることがわかる

- 残響の少ない部屋で収録
- 被験者: 8名, 収録データ: 48データ
- 収録音: 単発音(あ, い, う, え, お), 連続音(あいうえお)
- サンプリング周波数: 44100[Hz]

	距離の差 δ [cm]						
	実際の δ	あ	い	う	え	お	あいうえお
話者1	150	-27	151	151	151	79	150
話者2	55	54	54	57	53	55	58
話者3	-30	-28	-28	-29	-26	-26	1
話者4	-115	-115	86	-108	1	-124	-111
話者5	-145	-141	1	-78	-25	114	-137
話者6	-50	-51	-49	-48	-50	-53	-50
話者7	35	32	32	32	31	31	31
話者8	120	121	120	121	121	-34	120